

「自律した学び」の実現に向けて

* **自律した学び**とは…

「自ら問題を見付け、他者と協働しつつ、考え抜いて最適解を導き出す主体的な学習」

◇秋田の探究型授業の基本プロセスを踏まえた探究的な学習過程を意識した授業設計

問題発見・課題設定 → 見通し → 自力思考 → 学び合い → まとめ → 振り返り

《個別最適な学び》

《協働的な学び》

守

【1年次】型を極める「まず使う」

試行錯誤的段階

秋田の探究型授業の基本プロセスに即して推進

破

【2年次】自律に踏み出す「よく使う」

重点実践段階

基本プロセスの中で特に効果的な場面での重点的ICT活用

離

【3年次】自律して学ぶ「よりよく使う」

主体的活用段階

型を踏まえて生徒主体の問題発見、問題解決を推進

自律した学びを支えるICTの活用

問題発見のツール

- ・インパクトあるコンパクトな資料提示
- ・スタディ・ログを活用した新たな問題の発見
- ・家庭学習（タブレット学習）と本時の連結

個別最適な学びのツール

〔追究方法、追究過程の違いに応じるツール〕

- ・自分なりの「見通し」に基づいた追究
- ・興味・関心の違いに応じた追究
- ・資質・能力、習熟度の違いに応じた追究

協働学習のツール

- ・伝え合い、他者の意見に解釈や批評を加えたり、比較・統合・分類して考えたりすることで新たな気づきを生み出す
- ・双方向的な学習

ICTを活用させながら「**情報活用能力**」を育てる